

# 大下 英治

おおした えいじ

- 1944年 6月7日 広島県生まれ  
1968年 3月 広島大学文学部仏文科卒業  
1970年 週刊文春の記者となる  
記者時代「小説電通」（徳間文庫）を発表し、作家としてデビュー  
さらに月刊文藝春秋に発表した「三越の女帝・竹久みちの野望と金脈」が  
反響を呼び、岡田社長退陣のきっかけとなった。  
1983年 週刊文春を離れ、作家として政財官界から芸能、犯罪、社会問題まで幅広い  
ジャンルで創作活動をつづけている。

- 【著書】 「十三人のユダ 三越・男たちの野望と崩壊」新潮社（1989）  
「美空ひばり・時代を歌う」新潮社（1992）  
「闘争！ 角栄学校」講談社（2001）  
「トップ屋魂 首輪のない猟犬」イースト・プレス（2012）  
「田中角栄 巨魁伝」朝日新聞出版（2016）  
「高倉健の背中 降旗康男に遺した男の立ち姿」朝日新聞出版（2017）  
「百円の男 ダイソー矢野博文」さくら舎（2017）  
「電通の深層」イースト・プレス（2017）  
「石破茂の『日本創生』」河出書房新社（2017）  
「枝野立つ！ 立憲民主党のさらなる闘い」河出書房新社（2018）  
「大宏池会の逆襲」KADOKAWA（2018）  
「幹事長秘録」毎日新聞出版（2018）  
「週刊文春 トップ屋魂」イースト新書（2019）  
「ふたりの怪物—二階俊博と菅義偉」エヌディエヌコーポレーション（2019）  
「小泉純一郎・進次郎秘録」朝日新聞出版（2019）  
「昭和闇の支配者列伝 上・下」朝日新聞出版（2019）  
「二階俊博の政界戦国秘録第四巻」紀州新聞社（2019）  
「ウチナー 三大抵抗者の伝説」河出書房新社（2019）  
「ふたりの怪物—二階俊博と菅義偉」エヌディエヌコーポレーション（2019）  
「野中広務権力闘争全史」エヌディエヌコーポレーション（2019）  
「渋沢栄一 才能を活かし、お金を活かし、人を活かす」三笠書房（2019）  
「自民党の番頭 林幹雄の凄腕」さくら舎（2019）  
「永田町智謀戦4 安倍総理と二階幹事長」さくら舎（2019）  
「IT三国志「超知性」突破する力」青志社（2019）  
「吉本興業の真実」青志社（2019）  
「襲撃—裏社会で最も恐れられた男たち」青志社（2019）  
「芸能界のタブー」青志社（2019） など多数。

- 【近著】 「百円の男・ダイソー矢野博文」祥伝社文庫（2020）  
「田中角栄下剋上の掟 最後の激闘」さくら舎（2020）  
「日本を揺るがした『黒幕・政商・宰相』三巨頭」さくら舎（2020）  
「最長幹事長二階俊博」紀州新聞社（2021）  
「許永中独占インタビュー『血と闇と私』」青志社（2021）  
「スルガ銀行『かぼちゃの馬車事件』—借金450億円帳消しを勝ち取った男たち—」  
さくら舎（2021）  
「政権奪取 二階幹事長・菅総理と安倍晋三」さくら舎（2021）  
「ショーケン 天才と狂気」青志社（2021）